

危険物取扱者 [乙種・性消(第5類危険物)・正誤(6)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第5類の危険物は水との接触により、発火するおそれがあるものがある。 【 】
- (2) ニトロセルロースは完全に乾燥させて貯蔵する。 【 】
- (3) 過酸化ベンゾイルの発火点は125℃である。 【 】
- (4) 過酢酸は引火性を有する。 【 】
- (5) 過酢酸はエタノールに溶けない。 【 】
- (6) セルロイドは一般に、粗製品ほど発火点が高くなる。 【 】
- (7) ピクリン酸が金属塩となったものは爆発しない。 【 】
- (8) トリニトロトルエンは水より重い。 【 】
- (9) ピクリン酸とトリニトロトルエンは分子中に3つのニトロ基を有している。 【 】
- (10) ジアゾジニトロフェノールはアセトンにほとんど溶けない。 【 】
- (11) 硫酸ヒドラジンは無色または白色の結晶である。 【 】
- (12) ヒドロキシルアミンは熱分解により、窒素やアンモニアなどを生じる。 【 】
- (13) 硫酸ヒドロキシルアミンは強力な還元剤である。 【 】
- (14) 硫酸ヒドロキシルアミンは湿潤な場所に貯蔵する。 【 】
- (15) 硝酸グアニジンには毒性がある。 【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第5類危険物)・正誤(6)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第5類の危険物は水との接触により、発火するおそれがあるものがある。
禁水性のものはない。 【×】
- (2) ニトロセルロースは完全に乾燥させて貯蔵する。
ニトロセルロースは分解を抑えるため、湿綿状態で貯蔵する。 【×】
- (3) 過酸化ベンゾイルの発火点は125℃である。
発火点は125℃である。 【○】
- (4) 過酢酸は引火性を有する。
引火性を有する。 【○】
- (5) 過酢酸はエタノールに溶けない。
アルコールによく溶ける。 【×】
- (6) セルロイドは一般に、粗製品ほど発火点が高くなる。
粗製品ほど発火点が低くなり、危険性が増す。 【×】
- (7) ピクリン酸が金属塩となったものは爆発しない。
金属塩は爆発しやすい。 【×】
- (8) トリニトロトルエンは水より重い。
比重は1.6で、水より重い。 【○】
- (9) ピクリン酸とトリニトロトルエンは分子中に3つのニトロ基を有している。
3つのニトロ基を有している。 【○】
- (10) ジアゾジニトロフェノールはアセトンにほとんど溶けない。
アセトンに溶ける。 【×】
- (11) 硫酸ヒドラジンは無色または白色の結晶である。
無色または白色の結晶である。 【○】
- (12) ヒドロキシルアミンは熱分解により、窒素やアンモニアなどを生じる。
熱分解により窒素やアンモニアなどを生じる。 【○】
- (13) 硫酸ヒドロキシルアミンは強力な還元剤である。
強力な還元剤である。 【○】
- (14) 硫酸ヒドロキシルアミンは湿潤な場所に貯蔵する。
乾燥した場所に貯蔵する。 【×】
- (15) 硝酸グアニジンには毒性がある。
毒性がある。 【○】